

# ライブラリーサポーター秋のお薦め本 『この秋読んでほしい書籍たち！』

	著者名	タイトル	請求記号	資料番号	コメント
1	谷崎潤一郎	陰翳禮讃	913.6/ニホン/25 081/100/A-34	10640061733 29550550111	海外でも高く評価される、クリエイター必読の名エッセイ。 白く輝く”西洋”とは対照的に、沈んだ翳でこそ映える、ぼんやりと艶かしく、時に薄汚くもある美へのノスタルジー。
2	森見登美彦	きつねのはなし	F/18	10905035676	京都を舞台にした怪談短編集。じつとりとした仄暗い、幻想的な雰囲気味わえます。
3	サン＝テグジュペリ	星の王子さま	F/18 081/エイホ/562	10605001133 (河野万里子訳) 10505071205 (稲垣直樹訳)	「本当に大切なものは目には見えないんだよ」 有名なこの言葉以外にも、星の王子さまは心に残る言葉をたくさん私たちに教えてくれます。 時間を空けて読み返すとまた違う見方ができる、何度も読み返す楽しみのある作品です。 星の王子さまの言葉を通して大切なものについてゆっくり考えてみませんか？
4	瀬名秀明	パラサイト・イヴ	F/18	10605085077	心霊系のホラー小説ではなく、人間の体の中にあるミトコンドリア細胞の暴走と人類が戦っていく、といった新しいホラー小説です！ 徐々に生命科学の脅威に恐怖を感じるような構成になっています。第2回ホラー小説大賞も受賞しています！
5	安部公房	砂の女	918.6/シンチ/33	18740877504	砂——それは、このとらえがたい現代のすべてである。読めば読むほど考えさせる安部公房の書き下ろし長編小説。これぞ文学の金字塔！
6	マイケル・ローゼン	悲しい本	095.621/ロマカ-F	11405097490	悲しさは誰もが知っていて、みんなが知らないことだから…。 この本で、悲しさについてすこしだけ知ってみませんか？
7	森見登美彦	宵山万華鏡	081/2011/44	11110005024	祇園祭宵山の京都での物語。マッピングした地図を眺めてみると宵山の山鉾が点在する地域が舞台となっているため、地理描写は細かく具体的です。 京都の町を実際に巡ってみるのも良いのではないのでしょうか？
8	水野敬也	夢をかなえるゾウ	913.6/ミケユ-W	11403109567	ゾウの姿をした関西弁の神様による「ガネーシャ式」の課題で、あなたも人生変えてみませんか？
9	蜂飼耳	虫めづる姫君 堤中納言物語	081/コウフ/5	11500044975	今であれば普通にいそうな虫大好きな女の子。…その趣味は、当時異色でした。 難しい古文を分かりやすい現代語に訳した『堤中納言物語』。 あなたのお気に入りが見つかるかもしれません！
10	永井すみ	ボランティア・スピリット	096.19/ナスホ	10500062987	ボランティアって何でしょう？本当に善いものですか？それは、一人一人の思惑があるのです。 それぞれの事情が絡みながら謎を生む、複数の人物の視点から描くミステリー。
11	フィリップ・アリエス	図説 死の文化史	385.6/アリス	19060020402	時には、お墓と死者の話は如何ですか？ 宗教施設とお墓はセットな印象ですが、ふと、考えてみれば別物なこの2つ。 いつから私たちはセットだと思うようになったのか……。